

「今後のがん研究のあり方に関する有識者会議」開催要綱

1. 趣旨

がん対策については昭和59年から開始した「対がん10ヵ年総合戦略」、平成6年から開始した「がん克服新10ヵ年総合戦略」、さらに平成16年から開始した「第3次対がん10ヵ年総合戦略」に基づき取り組んできた。

その後、本会議における検討を経て、平成26年からは、文部科学大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣の確認の下に策定された「がん研究10ヵ年戦略」に基づき、がん研究を推進している。

平成30年3月に閣議決定された「第3期がん対策推進基本計画」において、「がん研究10ヵ年戦略」のあり方について検討を行い、新たな課題や重点的に進めるべき研究を盛り込む。その際、必要に応じて、現在AMEDで行われている事業の研究領域を見直し、科学技術の進展や臨床ニーズに見合った研究を推進する。」と記載されており、未だ克服すべき課題も多くあることから、がん研究の今後のあるべき方向性と具体的な研究事項等を総合的に検討する場として本会議を開催する。

2. 検討事項

- ・ これまでに行われてきたがん研究の評価について
- ・ がん研究における目標について
- ・ 今後のがん研究における重点研究分野と支援事業について 等

3. その他

- (1) 本会議は、内閣官房健康・医療戦略室次長、文部科学省研究振興局長、厚生労働省健康局長、経済産業省商務情報政策局長が協働し、別紙の構成員の参集を求めて開催する。
- (2) 本会議には、構成員の互選により座長をおき、会議を統括する。
- (3) 本会議には、必要に応じ、別紙構成員以外の有識者等の参集を依頼することができるものとする。
- (4) 本会議は原則として公開とする。
- (5) 本会議の庶務は、内閣官房、文部科学省、経済産業省の協力のもと、厚生労働省が処理する。
- (6) この要綱に定めるもののほか、本会議の開催に必要な事項は、座長が内閣官房健康・医療戦略室次長、文部科学省研究振興局長、厚生労働省健康局長、経済産業省商務情報政策局長と協議の上、定める。

「今後のがん研究のあり方に関する有識者会議」構成員

天野 慎介 一般社団法人全国がん患者団体連合会 理事長
上田 龍三 愛知医科大学医学部腫瘍免疫寄附講座 教授
神奈木 真理 日本癌学会 評議員
河野 浩二 一般社団法人日本癌治療学会 理事
郡山 千早 鹿児島大学医歯学総合研究科疫学・予防医学 教授
後藤 俊男 国立研究開発法人理化学研究所創薬・医療技術基盤
プログラムディレクター
島田 義也 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 理事
鈴木 美穂 特定非営利活動法人マギーズ東京 共同代表理事
中釜 斉 国立研究開発法人国立がん研究センター 理事長
新延 晶雄 一般社団法人日本医療機器産業連合会 副会長
羽鳥 裕 公益社団法人日本医師会 常任理事
藤原 康弘 公益社団法人日本臨床腫瘍学会 理事
細井 創 一般社団法人小児血液・がん学会 理事長
三津家 正之 日本製薬工業協会 副会長
南 砂 読売新聞東京本社 常務取締役調査研究本部長
米田 悦啓 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 理事長

(五十音順・敬称略)